

国語
六一
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 尊敬の気持ちを言葉で表す。
- ② 自己中心的な考えを改める。
- ③ 多くの星座を見つけて感激もひとしおだ。
- ④ あまりの楽しさに我を忘れる。
- ⑤ 人を敬う心を大切にする。

国語
六一二
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 胸中むねちゆうを打ち明あける。

② 困難くわんなんに負けまけず、仕事しごとを成なしとげる。

③ 予定よていより会議かいぎの時間じかんが延ひびて困まる。

④ 天皇后てんこうごう両陛下りやうていげ下の海外かいがいへのご訪問ごほうもんが延ひ期き
になる。

⑤ 希望きぼうを胸むねにがんばろう。

国語
六―三
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字^{かんじ}の読み^{よみ}を

の右側^{みぎがわ}に書き^か

みましょう。

① 郷里^{きょうり}の古い城^{しろ}が世界遺産^{せかいいさん}に選ば^{えら}れる。

② 絹^{きぬ}の糸^{いと}をていねい^{ていねい}に巻^まく。

③ 勤務先^{きんむくせん}の会社^{かいしゃ}の沿革^{こころし}を調^{しら}べる。

④ 破^{やぶ}れた絵巻物^{えまきもの}を修復^{しゆふく}する。

⑤ 川沿^{かわぎわ}いに在^ある町工場^{まちこうじょう}に勤^{いそ}める。

⑥ 物語^{ものがたり}の上巻^{うわまき}を読^よみ終^おえる。

国語
六―四
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 洗せんたく物ものを干ひしてから机この上うへを整理せいりする。
- ② 劇場げきじやうの裏口うらぐちを警備けいびする。
- ③ 恩師おんしのはげましの言葉ことばに感激かんじする。
- ④ 山沿やまのまわいの地域ちいきに激ししい雨あめが降ふる。
- ⑤ 干満かんまんの差さが大きい。

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 異国への旅は貴重な経験である。
- ② 異なる文化を理解するのは簡単ではない。
- ③ 骨が折れ、痛みで呼吸もできない。
- ④ 先生から職員室に呼ばれる。
- ⑤ 鉄骨造りの建物。
- ⑥ 清らかな空気を胸いっぱいいっぱいに吸う。

国語 六一六 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番	取り組んだ日 月 日
-------------------	-------------	----	---	---	---	------------------

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 砂場すなばたで穴あなをほる。
- ② 内閣総理大臣ないかくそうりだいじんの指示しじに従う。
- ③ 砂金すなごを見つけたる。
- ④ 日本国憲法にっぽんこくけんぽうに関する一冊いちさつの本ほんを読む。
- ⑤ 主君しゅくんと家来けらいが主従関係しゅじゆんかんけいを結ぶ。

国語
六一七
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 親孝行おやうやうをする。
- ② 厳しい現実げんじつを知る。
- ③ 提出期限ていしゅきげんを厳守げんしゅする。
- ④ 紅葉こうえいが美しい季節きせつになる。
- ⑤ 大学生だいがくせいになった姉あねが口紅くちびるを使う。

国語
六一八
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 木の切り株があちこちにあって危険だ。
- ② 映画のあら筋を説明する。
- ③ 湖面に山が映る。
- ④ 危ない場所に近づいてはいけない。
- ⑤ 兄は筋肉質で引きしまった体型だ。

国語
六一九
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字^{かん}の読み^よを

の右側^{みぎがわ}に書き^か

みましょう。

- ① 誤字^ごだつ字^じに注意^{ちゅうい}する。
- ② 言葉^{ことば}の使い方^{つかいほう}を誤^ごる。
- ③ 疑問^{ぎもん}を解決^{かいけつ}する。
- ④ 友達^{ともだち}を疑^ぎうこと^{こと}はしない。
- ⑤ 朝食^{あさけし}を簡単^{かんぱん}に済^すます。

国語
六一十
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 季節外れの商品を五割引きで売る。
- ② 国会の会期を延ばす。
- ③ ボールが当たり、窓ガラスが割れる。
- ④ お年玉を両親に預ける。
- ⑤ 権力を行使する。
- ⑥ 預金通帳を大事に管理する。

国語 六十一 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

① どんよりとした灰色の、今にも雨が降り
出しそうな空模様だ。

② 予報では降水確率が高い。

③ 大規模な工事を計画する。

④ 水を供給するシステムを整備する。

⑤ 墓前に花を供える。

⑥ 子供たちがバスから降りる。

国語 六十二 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日					
月					
日					

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 父は鉄鋼業を営む会社に勤めている。
- ② 大声で友達を呼ぶ。
- ③ 限られた資源を大切に使う。
- ④ 自分の元気の源は朝ご飯だ。
- ⑤ 解決策を考える必要がある。

国語 六一十三 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日					
月					
日					

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 会議を開始する時刻になった。
- ② トラックから荷物を降ろす。
- ③ あの日のできごとを心に刻む。
- ④ 困っている人々を救済する。
- ⑤ にぎやかな食事が済む。

国語 六十四 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みよを
の右側みぎがわに書きかましよう。

- ① 諸外国から観光客が温泉地にやってくる。
- ② 校庭の夏みかんがすっかり熟した。
- ③ 冷たい水がわき出る泉。
- ④ 法案が衆議院で可決された。
- ⑤ この織物は洗うと縮む。
- ⑥ 効率化を進め、作業時間を短縮する。

国語 六一十五 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みよを
の右側みぎがわに書きかましよう。

- ① ユネスコの親善大使が姿を現す。
- ② 養蚕業では、蚕のまゆを収かくする。
- ③ 選手として成功を収めたのち、かんとくに就任した。
- ④ 前向きな姿勢が評価される。
- ⑤ 善い行いを心がける。

国語 六十一 六 (読み)	第六学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番
------------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 窓の寸法を測る。
- ② 垂直に切り立つがけが車窓から見える。
- ③ 立派なとう磁器が割れて水が垂れる。
- ④ 傷口を応急処置した。
- ⑤ 機械の操作ミスを防ぐ。
- ⑥ 事故にあったが、幸いにも軽傷で済んだ。

国語 六一十七 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 安全装置が内蔵された機械を開発する。
- ② もう忘れ物はしないと宣言した。
- ③ 友人の誠実な態度に心が洗われた。
- ④ 洗たく機が故障した。
- ⑤ 友人の意見を退ける。
- ⑥ 腹痛で早退する。

国語 六十八 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字かんじの読みよみを
の右側みぎがわに書きかましよう。

- ① 家賃を納めるため大家の家を訪ねる。
- ② 布をどの色で染めるか検討する。
- ③ 物事の系統性について考える。
- ④ 同盟国を訪問する。
- ⑤ 国民には納税の義務がある。

国語 六十九 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 新あたらしい文ぶん化かを創つくるののは若わか者ものたちだ。
- ② かれは独ひとり創つく的てきな演えん奏そうをすする。
- ③ 長ながい階か段だんを負お担たんに感かんじる。
- ④ 大だい会かいへの参さん加かが認められる。
- ⑤ あの俳はい優ゆうは演えん技ぎが上あ手てだ。

国語 六一二十 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 姉あねの好物お好物は卵料理たまご料理だ。
- ② 世界せかいには多くの宗教しんじょうがある。
- ③ 昨晚おととほの事ことは秘密ひみつにしておこう。
- ④ 国会こくかいで野党のたうの議員ぎいんが総理大臣そうりだいじんに質問しつもんする。
- ⑤ 東京都とうきょうとにある庁舎ちやうしゃの場所ばうしよを確かめる。
- ⑥ ここは私有地しよゆうちです。

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 従来じゆらいのやり方やうほうを改善かいぜんすることは難がたしい。
- ② 困難くわんなんな問題もんだいだが解決かいげつに向けて努力なうりしよう。
- ③ 地層ちそうに興味きういがある。
- ④ 誕生日たんじゆうびに花はなが届とどくように手配ていはいした。
- ⑤ 俳句はいくの雑誌ざっしを買かう。

国語 六一二十二 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 人間の脳は幼児期に急速に発達する。
- ② 幼い子供たちを前にして朗読を行う。
- ③ 法律の勉強をする。
- ④ 毎朝、牛の乳をしぼる。
- ⑤ コーヒーに牛乳と砂糖を入れる。

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 友達と背中を合わせて背比べをする。

② すぎ並木の背後に山頂が見える。

③ 山の頂から日の出を拝む。

④ 推理小説の本を頂く。

⑤ 自宅は郵便局の並びに在る。

⑥ 父の百科事典を拝借する。

国語 六一二十四 (読み)	第六学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字の読みを
の右側に書き
ましよう。

- ① 江戸幕府の初代将軍は徳川家康だ。
- ② 弁論大会が幕を開ける。
- ③ 署名を集めるため、奮起した。
- ④ 勇気を奮う。
- ⑤ 弱点を補うため、選手を補強する。
- ⑥ 公園の樹木をながめる。

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① ごみ箱ごみばこに、ごみを捨すてる。

② 答こたえを四捨五入しよせごにゅうして記述きじゆする。

③ 尺八しゃちばちは太ふく重おもこような音ねを出だす樂器がくきだ。

④ 班長はんちやうを尊そん敬けいしている。

⑤ かれの夢ゆめは宇宙飛行士うちゅうひやうしになることだ。

⑥ 海岸かいがんで美うしい貝かいがらを拾ひろう。

国語 六一二十六 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字かんじの読みよを
の右側みぎがわに書きかましよう。

- ① 朝晩、川沿いの道を走る。
- ② 平和の大切さを痛感した。
- ③ 山の頂上でお弁当を食べる。
- ④ 一枚の絵画が、先祖の残した家宝だ。
- ⑤ 飛行機の模型が妹の宝物だ。

国語
六一二十七
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

ましよう。

- ① 批判を承知で今後の方針を述べる。
- ② 注射の針を見るのが苦手だ。
- ③ 日が暮れたので照明をつける。
- ④ 兄は最近、一人暮らしを始めた。
- ⑤ 的に向けて矢を射る。
- ⑥ 提案に対して否定的な意見が出る。

の漢字かんじの読みよを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 縦と横の長さから面積を求めろ。
- ② その作家の著作を多数保存している。
- ③ 画家の個展に多くの人が来訪した。
- ④ いつか飛行機を操縦してみたい。
- ⑤ 会社の存亡をかけた商品を開発する。
- ⑥ ほ乳類のイルカは肺で呼吸する。

国語 六一二十九 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 城しろの石段いしだんを登のぼった翌日あしたは足あしが痛いたかった。
- ② 病院びやういんで内臓ないざうの検査けんさを受けうける。
- ③ 台風たいふうのため至いたる所ところで交通機関こうつうきかんが混乱こんらんした。
- ④ 服装ふくそうの乱れみだりを整ととのえる。
- ⑤ このままでは問題もんだいの長期化ちがいきわは必至かならずだ。

国語 六一三十 (読み)	第六学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日					
月					
日					

の漢字^{かんじ}の読みを
の右側^{みぎがわ}に書き
ましょう。

- ① 月面探査機の打ち上げを計画する。
- ② 片方の窓を閉める。
- ③ 水分の蒸発を防ぐため、ふたを閉じる。
- ④ ジヤムを保存する密閉容器を探す。
- ⑤ 値段は高いが、それに見合う価値のある商品だ。

国語
六十三十一
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きかき

みましょう。

① 臨時列車の乗車券を買う。

② 温暖な気候の土地で暮らす。

③ 暖かいので上着は必要ない。

④ 暑い季節は食欲が無くなる。

⑤ 地図の縮尺を調べる。

国語
六十三
(読み)

第六学年の漢字（読み）

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 道路の拡張工事を指揮する。

② 銭湯の看板を新しくする。

③ 通訳の仕事に転職しようと腹を決める。

④ 展覧会が中止になった訳を説明する。

⑤ ラーメンの大盛りを食べて満腹になった。

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

① 敵たかながら、見事みごとな戦いくさい方に舌したを巻まく。

② 胃腸いちょうの調子てうしが良い。

③ かれの相棒あひだちは職務しやくむに忠実ちゅうじつだ。

④ うず潮うしほが一番いちばん大きく見えるのは満潮まんしほの時ときだそうだ。

⑤ 作詞さくしの勉強べんきやうをするために専門せんもん学校がくに通とほう。

国語 六―三十四 (読み)	第六学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
取り組んだ日 月 日					

の漢字かんじの読みを
の右側みぎがわに書き
ましょう。

- ① 観衆くわんしゆが土俵どひやうの上うへの力士りきしを注視ちゆしする。
- ② オリンピックの聖火せいふリレーりれいが始まるはじまる。
- ③ 純じゆんすいな気持きもちちを忘わすれない。
- ④ 「医いは仁術にじゆつ」いという格言ごくごんがある。
- ⑤ 農夫のうふが米俵こめひやうを軽々けいけいとかつぐ。

国語
六―三十五
(読み)

第六学年の漢字(読み)

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

の漢字かんじの読みよみを

の右側みぎがわに書きか

みましょう。

- ① 多くの穀物を海外から輸入する。
- ② 不純物を取り除く。
- ③ 家臣を従えて出かける。
- ④ 人体に有害な物質を除去する。
- ⑤ 布を裁断して洋服を作る。
- ⑥ 法律で裁く。